市民と歩む 新しい鴻巣

三者対談特別号

大島あつし 衆議院議員 × **大野もとひろ** 埼玉県知事 × **並木まさとし** 埼玉県議会議員

国・県・市を 並木まさとし がつなぐ

並木まさとし県議会議員は、埼玉県庁の知事室にて大野もとひろ知事、大島あつし衆議院議員と三者対談をおこないました。
並木県議は、大野知事の就任時より鴻巣市・埼玉県が抱える課題の解決のために政策提案などに努めてきました。また、大島議員とも深い信頼関係で結ばれています。これからも、国・県・市とで緊密に連携をして地域の発展に力を尽くしていきます。

産業をつくることで地域の活力を生み出す

並木／先日、『統計からみた埼玉県のすがた２０２２年版』を見ていたところ、昼夜間人口（※1）が鴻巣市は県平均よりも10ポイント少ないということを改めて感じました。昼間人口が多い自治体との違いは、大規模な事業所が立地しているかどうかということです。やはり地域の活力を生み出すためには産業がなければなりません。

大野／人口減少の克服については「裏打ち」があるということが重要であると思います。並木さんが言われたような、「産業があるからそこに人が住み、子どもが生まれる」という良いスパイラルを作り出すことこそ、政治の力で取り組むべきことです。分厚い産業層をつくるため、産業団地をはじめとした、今県でも具体的になってきている施策によって、人と企業を呼び込むことは非常に大切なことです。

並木／鴻巣市でも、令和６年度に「（仮称）鴻巣箕田地区産業団地」が完成予定であり、これは地域の活力を生み出すための大きなチャンスであると考えています。

並木／産業集積のためには交通の利便性も重要です。

大野／道路網の整備も、産業を発展させていくためには不可欠です。特に県央地域は交通の利便性という観点では大きな優位性がありますから、鴻巣市にもこれを活かしたまちづくりを進めてもらいたいと思います。

大島／圏央道、上尾道路ができたことによって県央地区には物流拠点が次々と完成するなど、産業集積が進んでいます。そのうえで進めるべきこととして、沿道地域の土地活用の促進があります。

大野／大切なことは、市が優先順位をきちんとつけて、全体の構想のなかでどのようにその地域を位置づけるかということです。例えば、「この土地を活用すれば鴻巣市がこのように発展していく」という説得力のあるストーリーを市民も含めた多くの人に示すことができるかということこそ、市長を含めた行政の腕の見せ所と言えます。

並木／先程昼夜間人口を例にとりましたが、この昼夜間人口をひとつの指標にしながら、産業をつくることによる地域の活性化に力を尽くしていきたいと思います。

※1 **昼夜間人口**：常住人口に他の地域から通勤通学してくる人口を足し、他の地域へ通勤する人口を引いたもの

市・県・国が連携して治水対策を進める

並木／鴻巣市は、国が管理する荒川と県が管理する元荒川に挟まれています。低い土地が大半を占めることを踏まえて、市・県・国の連携による治水対策を推進していかなければならないと考えていますが、いかがでしょうか。

大野／２０１９年の台風１９号以降、県としてもソフトとハードの両面から治水対策を進めています。ハード面では、就任前に１千億円を切っていた土木費について、防災などの必要な部分についてきちんとした措置を進めてきました。
また、ソフト面で重要なのは「流域治水（※２）」の考え方に基づき取り組むことです。これについてはこれまで下流から順次対策を進めてきており、今ちょうど鴻巣市に差し掛かったところです。地元の自治体と国とをつなぐ責任が県にはありますから、流域全体を捉えながら対策を進めていきたいと思います。

並木／台風１９号では、越水による道路冠水や田畑への影響など市内でも多くの被害が出ました。県、そして国としっかりと連携して災害対応力を高めていくことが重要です。

大島／鴻巣市は堤防で守られている面積が広く、カスリーン台風でも大きな被害を受けました。国でも荊原をはじめとした吹上地区について対策を進めています。
元荒川については、台風１９号と同じ規模の台風が来ても越水しないような基盤整備が必要です。これは県に中心になってもらいながら市と国との連携のもと進めていければと考えています。

並木／台風だけでなく集中豪雨などの被害も近年は増加しています。市民の皆さんの生活といのちを守るため、喫緊の課題として治水対策と河川の監視体制の強化をおこなっていきたいと思います。

※２ **流域治水**：雨水が河川に流入する地域から河川の氾濫により浸水が想定される地域にわたる流域に関わるあらゆる関係者が共同して水災害対策を行う考え方

台風１９号の際には消防団の一員として土のう積や見回りを行いました。

真っ直ぐさと地域への愛が大切

並木／県央地区でも一番北に位置する鴻巣市ですが、これからも若い世代の方々に選んでもらえる街にしたいと思います。さらに加速するためにも、独自の子育て支援策など、若い世代の方々に魅力的に感じていただけるような施策を取っていくことが必要です。

大野／地域の活性化には明確なビジョンが必要ですが、鴻巣市にとってベストな選択のひとつが並木さんの言うような「産業」による活性化であると私も考えます。
地道に産業をしっかりと支えるということが、将来につながっていきますし、それによって生まれる街の活気は継続的に続くものです。並木さんにはそのようなビジョンをもって鴻巣市の将来を考えていただきたいと思います。

大島／政治家にとって何よりも大切なのは地域にコミットメントすることです。その地域に生まれ、その地で一生涯地域のために働く覚悟で活動をしていく、それは誰もができることではありません。私はその意味でも並木さんを信頼しています。

大野／並木さんの良いところは「真っ直ぐなところ」です。そして、地域を大切にしているということが、県知事という立場で並木さんを信頼できる理由です。並木さんの真っ直ぐさと地域への愛、これは何よりも大切なものです。

並木／お二人とお話をするなかで、改めて「市民と歩む、新しい鴻巣をつくる」という思いが強まりました。お二人と今後も連携して課題解決に取り組みたいと思いますので、よろしくお願いします。

大野知事や近隣の市長・町長と連携をして、鴻巣市をさらに発展させ、市民の生活といのちを守っていきます。

並木まさとし プロフィール

昭和45年（1970年）鴻巣市本町生まれ
埼玉県議会議員（２期）／会派：無所属県民会議

◆ 経歴
鴻巣幼稚園／鴻巣東小学校／鴻巣中学校／埼玉栄高校（サッカー部）／亜細亜大学経済学部国際関係学科卒／セントラルワシントン大学AUAP

◆ 議員歴
平成22年7月　鴻巣市議会議員補欠選挙 初当選
平成23年4月　鴻巣市議会議員選挙 当選（2期目）
平成27年4月　埼玉県議会議員選挙 初当選
平成31年4月　埼玉県議会議員選挙 当選（2期目）

◆ 家族構成
妻、長女、長男、愛犬レオ

◆ その他
鴻巣市消防第2分団 団員（25年目）
鴻巣市商工会青年部 第31代部長
第8回こうのす花火大会代表
元　鴻巣幼稚園保護者会 副会長／
　　鴻巣東小学校PTA 副会長
前埼玉県知事上田清司政治塾 塾生

近隣の市長・町長と連携して「新しい鴻巣」へ！

北本市長　三宮ゆきお

桶川市長　小野かつのり

上尾市長　はたけやま稔

伊奈町長　大島きよし

発行者連絡先　市民と歩む新しい鴻巣をつくる会　〒365-0038　鴻巣市本町3-10-25　TEL.541-7777 ／ FAX.543-8000